

受付印		子の氏の変更許可申立書 (満15歳以上の子に関する申立用) 大阪家庭裁判所 御中	
		(この欄に収入印紙をはる。子1人につき800円) (はった印紙に押印しないでください。)	
収入印紙	円		
予納郵便切手	円		

準口頭		関連事件番号	平成・令和	年(家)	第	号
添付書類	子の戸籍謄本1通、父・母の戸籍謄本1通					

※本籍・氏名は戸籍謄本どおり丁寧に書き写してください。

申 立 人 ① (子)	本籍	都道 大阪 大阪府 大阪府大阪市中央区大手前100番		子の戸籍どおりに！
	住所	〒 540-0008 大阪府大阪市中央区大手前4-1-13		
	電話	昼間連絡のとれる電話番号 090 (0000) 1234		
	フリガナ 氏名	(子ども本人が記入・押印) オツノ タロウ 乙野 太郎	子の印鑑を押印 	昭和・平成・令和 14 年 7 月 1 日生 満 17 歳

※認め印で可

申 立 人 ② (子)	本籍	☒ 上記申立人と同じ (同じ場合は口の中にレ点をつければこの欄は記載不要) 同じならチェックでOK		
	住所	☒ 上記申立人と同じ (同じ場合は口の中にレ点をつければこの欄は記載不要) 同じならチェックでOK		
	電話	昼間連絡のとれる電話番号 ()		
	フリガナ 氏名	(子ども本人が記入・押印) オツノ ジロウ 乙野 二郎	子の印鑑を押印 	昭和・平成・令和 16 年 9 月 1 日生 満 15 歳

※認め印で可

申 立 人 ③ (子)	本籍	☐ 上記申立人と同じ (同じ場合は口の中にレ点をつければこの欄は記載不要)		
	住所	☐ 上記申立人と同じ (同じ場合は口の中にレ点をつければこの欄は記載不要)		
	電話	昼間連絡のとれる電話番号 ()		
	フリガナ 氏名	(子ども本人が記入・押印)	作成した日付を書く 印	昭和・平成・令和 年 月 日生 満 歳

※認め印で可

作成日	令和 2 年 4 月 1 日
-----	-------------------------------------

※太枠の中だけを記載してください。本籍・氏名は戸籍謄本どおり正確に記載してください。

※満15歳になっていない子どもさんについては専用の別の書式がありますので、そちらに記載してください。

裏面にも記入欄あり

変更前の		変更後の	
申立		趣旨	
① 母	申立人の氏（ 乙 野 ）を2 父 の氏（ 甲 山 ）に変更することの許可を求める。		
3 父母			

※あてはまる番号ひとつを○で囲み、（ ）内に具体的な氏を記入してください。

理由を選んで○		申立ての実情	
		父、母と子が異なる氏になった理由	
①	父母が離婚したため。		
2	父母が結婚したため。		
3	父母が養子縁組して氏が変わったため。		
4	父母が養親と離縁して氏が変わったため。		
5	父による認知のため。		
6	父（母）が死亡後、母（父）がもとの姓に戻った（復氏した）ため。		
7	その他（具体的に		）

理由を選んで○

※あてはまる番号ひとつを○で囲んでください。7の場合は（ ）内に具体的に記入してください。

申立ての動機（理由）	
①	母と暮らしていく上で母と同じ氏で同じ戸籍のほうが便利だから。
2	父と暮らしていく上で父と同じ氏で同じ戸籍のほうが便利だから。
3	入園、入学のために必要があるので。
4	就職のために必要があるので。
5	結婚のために必要があるので。
6	その他（具体的に

※あてはまる番号ひとつを○で囲んでください。6の場合は（ ）内に具体的に記入してください。

子の氏の変更許可申立書（15歳以上用） 記入見本

本籍、氏名の文字は、戸籍謄本どおり正確に、崩さないで楷書で記載してください。

（例） 西←→𠂔、吉←→𠂔、崎←→崎 など、同じ読みでも形の違う文字があります。細かいところも戸籍と全く同じ文字の形になるよう正確に書き写してください。文字の形が違っていると訂正をお願いすることになります。